



《一般書》

- コメンテーター 奥田 英朗/著
■キリンのひづめ、ヒトの指 郡司 芽久/著
■おやごころ 島中 恵/著
■渦の中へ あさの あつこ/著

《児童書》

- 水辺のワンダー 橋本 淳司/著
■きりんのまいにち 二宮 由紀子/作, 大野 八生/絵
■石の中の宇宙 永井 明彦/作, 吉田 瑠美/絵
■ごみ 世界で一番やっかいなもの G・レイド/文・絵, 那須田 淳/訳
■ソノリティ はじまりのうた 佐藤 いつ子/著 松島 恵利子/著
■中村哲物語 加藤 休三/著
■ヤングさんのオーケストラ なかえ よしを/作, 小池敏彦/絵
■デリバリーぶた 長谷川 あかり/著
■たぬきクリニック ミーナ・ハリス/文他
■山の上に貝がらがあるのはなぜ? アレックス・ノゲス/文他
■なかよしの犬はどこと? エミリー・サットン/作・絵, のざわ かおり/訳
■世界 時空の歴史大図鑑 マイオレック/文他
■夢のビッグ・アイデア ミーナ・ハリス/文他
■ブックウィング ふじもと みさと/文他

※6月から、随時入っています。
便利なインターネット予約をご利用ください。

今月のおすすめ

渦の中へ
あさの あつこ/著

おいちの祝言の日に、ある商家で毒物
混入事件が起きる。犯人が知人の巳助と
聞いたおいちは…。
「おいち不思議がたり」シリーズ第6弾。

□問い合わせ
まなづる図書館 ☎68-6326

公共施設7月の休館

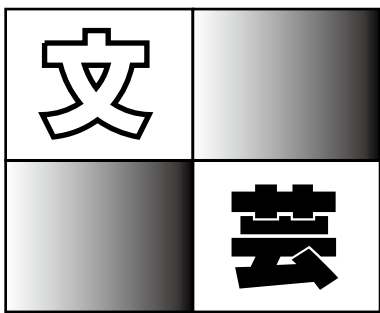
※新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設の
休館日が変更となる場合があります。

まなづる図書館 ☎68-6326
真鶴地域情報センター ☎68-1111

3日(月)、10日(月)、18日(火)、24日(月)、31日(月)

町民センター ☎内線440

3日(月)、10日(月)、17日(月)、24日(月)、31日(月)



真鶴町俳句協会

息衝きし原生林に緑さす
水張りて庄内平野の五月かな
葛若葉覆ふホテルの異国風
嗚呼さふか生きているのか流螢よ
月涼し散歩の朝の深呼吸
山笑うたなびく雲は草書体

直美 英一 珠絵 都作 千恵子 比左子

真鶴短歌会

「よろしく」といふ曖昧なる言葉時に言ひけり
便利さゆゑに 河村温恵
何の芽か土を突き抜け出できたる路傍の花の
咲くはたのしみ 青木智子
耳硬き焼きサンドイッチに泥みたり咀嚼おとろ
ふ八十路の朝顔 神田眞三
子らの来てそれぞれ暮らしをのぞかせる亡き
父のまへ手土産並べ 田所仙子
伴ひて村うち嫁御と二千歩の日毎衣を替へ出
会ひ楽しむ 清海テイ子
「ママサンキュー」涙拭ひつつ幾たびも幼は手を
振り異国へ帰る 湯川律子

少年の臍の傷あとソーダ水
水馬いちかばちかで潜りたし
まだ空の恐さを知らず今年竹
桂子

遠き日の「ガリ勉君」の名幾たびも確かめてお
る叙勲の欄を 新田楨子
柵作る娘の作業手際よく幼き頃より物づくり
せし 竹林初江
温かく降る五月雨が頬つたひ初夏の季は一瞬に
来る 加藤 龍
夕暮れを桐のかをりが母を呼び山道ゆけばお
もひ切なし 川崎善子
子育ての苦しさゆゑか篋が黄の色深む夕への
風に 中村みほ子
飢ゑしのぐ草はあら無く川土手に疲れ座しあ
き少女われらは 温井松代

投稿

燕舞う真鶴良所か問うて見る 保夫
青を踏み強か過ぎでつつましき 翠明
茶摘を知らずも初茶の口福 圭江
海の町描く人いて夏たける

お悔やみ

Table with 5 columns: 氏名, 歳, 世帯主, (地), 区. Rows include 松本 満, 寺山 公恵, 坂井 溢弘, 草柳 武諒, 松本 敏, 村山 幸子, 柴口 治雄.

※5月1日〜5月31日受付分の掲載了承者
のみ掲載しています。(敬称略)